

第6回千葉里山フェスティバル「里山シンポジウム」里山に託す私たちの未来

2009年テーマ「里山と食料・水・木材」

教育・学習分科会（1）

「校庭の樹木に自然を学ぶ」

〔趣旨〕

千葉県が里山条例を制定して6年目になります。県民へ趣旨を普及するため毎年5月に里山シンポジウムが開催されています。今年は佐倉市が会場ですが「教育・学習分科会」では全体会に先駆けて、教育実践例の報告会を開催いたします。

小学校の校庭樹木を森林学習のフィールドに位置づけ、指導者の意識次第で子ども達が里山に関心を寄せ、生物多様性に興味を持ち自然に目覚める契機となります。今回は校庭樹木を活用した事例を報告し、校庭樹木を教育的利用することを広く呼びかけたいと考えています。

〔日時〕平成21年2月22日（日）13：30～16：00（受付：12：00）

〔会場〕千葉県立中央博物館「講堂」 定員200名（先着順・入場無料）

〔対象〕一般県民、教職員、自然教育指導者など

〔挨拶〕金親 博栄氏（里山シンポジウム実行委員会代表）

〔基調講演〕山下 宏文氏（京都教育大学教育学部教授）

〔事例報告〕

千葉市立みつわ台北小学校 教諭 渡邊洋陽氏（児童が作った校庭の樹木図鑑）

千葉市立みつわ台北小学校 教諭 山口宏美氏（四季の校庭観察で見たもの）

東京都練馬区立中村西小学校 教諭 鈴木真氏（生活科で校庭の樹木を活用）

〔コーディネーター〕中村 俊彦氏（千葉県立中央博物館副館長）

〔討論コーディネーター〕上善峰男（森林文化教育研究会）

〔総合司会〕鈴木 敦氏（みどりのネットワーク千葉）

〔音楽演奏〕オープニング演奏（みつわりコーダーアンサンブル）

幕間休憩演奏（西アフリカ、ギニアのジャンベ太鼓）

〔主催〕千葉県里山シンポジウム実行委員会・森林文化教育研究会・千葉県

〔後援〕千葉市教育委員会・ちば生物多様性県民会議（申請中）

〔協力〕千葉県生物多様性センター・千葉県立中央博物館

●問い合わせ：森林文化教育研究会 上善 峰男（自宅電話 043-253-7661）

